

ゲートレス、チケットレス方式で入出庫トラブルを回避 監視映像や稼働状況を遠隔確認でき、運用も効率化



導入先

天草市役所さま

- 熊本県天草市
- 天草市は、天草上島と下島および御所浦島などで構成する天草諸島の中心部に位置。人口約7万人で、面積は県内で最大。自然景観、キリシタンの歴史など、多くの観光資源にも恵まれる。
- 棚底港区 第二駐車場(本物件)



棚底港 旅客待合所

導入商品

在車センサー検知式パーキングシステム

- 精算機 RZ-P101UX×1台
- ネットワークカメラ(PTZ) YK-P02AG×3台
- 在車センサー RZ-P201×25台

- 旅客船・カーフェリーの発着港である棚底港区の市営第二駐車場のシステムとして、2025年3月導入。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

棚底港区の駐車場の利用者数が、「御所浦恐竜の島博物館」のリニューアルオープンにより大きく伸び、従来の臨時駐車場を第二駐車場として整備することが決定。ゲートバーや発券機の故障などで管理職員にトラブル対応の負担がかかる機器・システムを求めました。

センサー式で、ゲートレス、チケットレスのため、従来の入出庫トラブルがなくなりました。

フラップ(ロック板)式と違って工事が簡単。通信ケーブルの敷設が不要だったのもメリット。

監視カメラ映像や稼働状況などをクラウドで遠隔チェックできるのも、運用するうえで便利。



天草市役所
建設部 土木課 河川港湾係
主事 吉田 祥麻さま

導入の背景

「御所浦恐竜の島博物館」のオープンに伴うフェリー利用客の増加で、駐車場不足に。

フェリーターミナルがある棚底港には、旅客待合所前に約100台駐車できる市営駐車場を設置し、運営してきました。ところが、2024年3月に「御所浦恐竜の島博物館」がリニューアルオープンしたこと、フェリーの利用客が急増。ゴールデンウィークには駐車場が不足する状況になりました。そこで、翌年の同時期に間に合うように、これまで繁忙期の臨時駐車場として活用していた場所を、第二駐車場として整備することが急務となりました。

選ばれた理由

チケットレス、ゲートレス、ロック板レスで選定。 在車センサーはワイヤレスで配線工事が不要。

既存の駐車場では、発券機にチケットが詰まつたり、ゲートバーとの接触があったりと、トラブルにより夜間でも管理職員が現場に急行せざるを得ないことがありました。そのため、チケットレス、ゲートレスを条件に探していたところ、シャープのセンサー式駐車場システムを見つけました。ラップ(ロック板)式と違って、砂利敷き駐車場でも設置でき、通信ケーブルの敷設も不要で工事が簡単な点も評価。また、機器はリースで導入でき、クラウドの管理システムも月額使用料の契約のため、備品の購入を伴わず、早期の導入がしやすかったことも決め手でした。

導入後の効果

出入庫トラブルの回避で職員の負担が軽減。 カメラ映像や稼働状況を遠隔で確認できる。

設置工事もスムーズで、混雑するゴールデンウィークにも間に合うかたちで導入でき、フェリー利用客の皆さんにご不便をおかけすることなくご使用いただきました。チケットレス、ゲートレスのため、出入庫トラブルも回避でき、管理職員の対応負担もなくなりました。カメラ映像は、出庫時の確認画面に車両画像を表示して精算ミスを予防するほか、離れた市役所からの現場確認や未払い車両の特定でも役立ちます。また、クラウドの管理システムで稼働状況を把握できるのも運用するうえで便利です。

今後の展望

集計データの活用で一層のサービス向上へ。 将来的に車番認識システムの導入も検討。

管理システムの集計で、ゴールデンウィーク最終日が最も利用者が多ことなどがわかったので、今後のサービス向上に役立ててまいります。また将来的には、第一駐車場へご提案いただいている車番認識システム※の導入も検討したいと思います。

※出入口にカメラを設置し、ナンバープレートを撮影/車番認識して出入庫を管理するシステム



駐車位置に在車センサーを設置



カメラ画像で車を確認して支払い

3台の監視カメラは遠隔操作で映す方向を変えたり、ズームしたりもできる



クラウドの管理システムにより精算機のPOSデータの分析も可能